



## ごあいさつ

保健医療学部長 大日向 輝美

朝晩の気温も低くなり、一雨ずつ秋が深まってきました。保護者の皆さまにおかれましては、平素より本学の教育・研究活動にご理解・ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、このたび、保健医療学部通信第9号が完成しましたので、お届けいたします。この通信は、保護者の皆さまに学部の動きや学生たちの様子をお伝えし、大学・学部に対する理解を深めていただく目的で、平成25年に創刊しました。年2回の成績送付に合わせて発行しておりますが、早くも5年目となりました。この年に始めた保護者懇談会も5回目となり、今年度は3学科合わせて51名の方々にご来学いただきました。このような機会を通して、保護者の皆さまとの連携をはかり、共に学生を支援する体制を強化して参りたいと思います。

9月25日からは後期がスタートし、各学年とも新たな課題への取り組みが求められる時期に入りました。次年度に向けた重たい学習課題が重なってきますが、学生の皆さんには日々の学びをしっかりと積み重ねてほしいと願います。

学内の施設整備も着々と進んでおります。3月に保健医療学部棟（旧棟）に連結する新棟が完成し、5月の連休明けに教員研究室、院生自習室を移転しました。この機に保健医療学部棟は、「保健医療学研究棟」に改名しております。7月からは旧棟の改修工事が始まり、現在あちこちがシートで覆われた状態です。工事は、授業のない夜間、休日、長期休暇で行われるため、完成には1年半を要しますが、改修後は少人数用の演習室や老朽化した実習室・実験室が再整備され、教育研究環境は格段に良くなる予定です。

保健医療学研究棟の北側、旧体育館跡地に建設中の教育研究棟I（仮称）は、12月に完成します。これまで十分でなかった学生用スペースが面積・機能とも整えられますので、学生の皆さんには大いに活用してもらいたいと思います。段々と新しくなっていくキャンパスを最大限に活用し、充実した学生生活を送ってもらいたいと願います。

まもなく冬の足音が聞こえてくる季節となります。体調管理にはお気をつけくださいますようお願い申し上げます。



### 【平成29年度 前期学事 実施報告】（1～4学年）

（4学年共通）

4月 7日 入学式  
4月10日～4月12日 「保健医療総論1～4」  
4月13日～ 前期講義開始  
6月 8日～6月11日 大学祭  
6月25日 大学記念日

（1・2年生）

7月31日～9月 3日 夏季休業  
9月 4日～9月15日 前期定期試験

（3年生）

7月31日～9月 3日 夏季休業  
9月 4日～9月15日 前期定期試験  
9月19日～ 臨地実習（看護）

（4年生）

4月17日～9月29日 臨床実習（作業）  
5月 8日～8月 4日 "（理学）  
7月24日～8月 4日 前期定期試験（看護）  
8月 7日～8月20日 夏季休業（看護）  
8月 7日～9月18日 "（理学）  
7月31日～8月13日 "（作業）  
8月21日～ 臨地実習（看護）



## 授業紹介

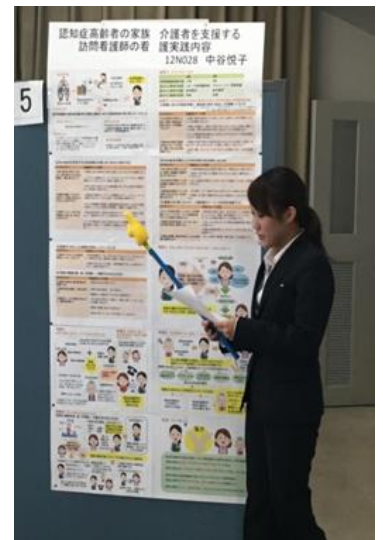
### 看護研究1・2（看護学科4年）

看護研究1・2は、看護学科4年生の前期および後期に開講される科目です。1年生からの講義・演習・実習の中で生じた自らの疑問を解決するために、看護研究を計画・実施し、その結果を発表会で討議し、論文を作成するという内容です。

4月に看護研究に関する全体講義の後、学生は指導教員のもと、少人数のセミナー形式で文献検討を重ね研究計画を立案します。看護学科の倫理審査で立案した研究計画書が検討されます。審査の承認を受けるといよいよ研究の実施です。データ収集中の学生は目をキラキラさせて発見を重ねていきます。その後、指導教員とともに自己の疑問から設定した研究テーマを深く検討します。結果から考察を行い、ポスターを用いて報告会でプレゼンテーションを行います。学生同士、教員および報告会に参加くださった看護職の皆様から質問を受け、それに答える中で、学生自らが深く研究結果について再検討します。最後に論文をまとめ、これらの一連の研究過程の実践を通して、批判的な思考力、論理的な表現能力、および研究者に求められる倫理的態度を学習します。

看護研究1・2で培った能力は、卒業後も学生が自らの専門職として、課題を探求し、解決し、より良い看護を展開していくための基礎力となっています。

（科目担当責任者：看護学科准教授 桑原ゆみ 科目運営担当教員：仲田みぎわ、山本武志、水口和香子）



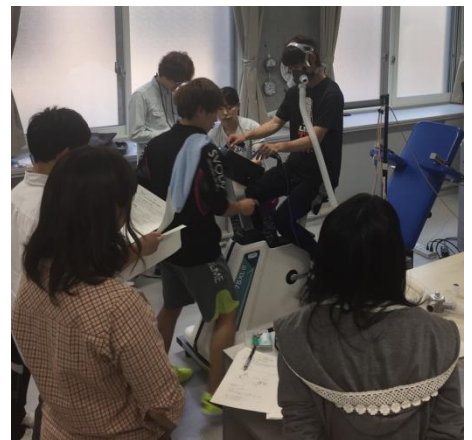
### 内部障害理学療法学（理学療法学科3年）

“内部障害”は、心臓、肺、腎臓などの呼吸循環代謝系の疾患による障害を指します。

本科目は、1年次や2年次での内科学や外科学などで学んだ“内部障害”の病態を基礎として、運動生理学や理学療法評価診断学といった運動療法の基盤を“内部障害”の病態へ応用するために必要な考え方や技術を学習します。

近年では、理学療法の主要な適応領域の1つとして、狭心症・心筋梗塞、そして糖尿病等に対する内部障害理学療法学の履修時間や履修内容の充実化が図られており、後に続く臨床実習へ橋渡すための重要な科目として位置づけられています。

（科目担当責任者：理学療法学科 助教 根木 亨）



### 日常生活適応学（作業療法学科2年）

この講義は作業療法学科2年生を対象に開講しています。

作業療法士は病気や障害、高齢により生活に何らかの困難さを抱える対象者の生活を支援する専門家です。そのため、人が行う様々な生活行為の評価方法や生活の質との関係、介入方法や環境整備の基礎を理解することを目的としています。

2年生の段階では各障害の詳細については学んでいないため、実際の講義では、症例報告を元に対象者が抱える生活の不便さをイメージし、適切な評価方法・自助具を選択したり、車椅子操作や移乗動作の実演を通して生活動作の基礎を学んだりしています。

この内容は、作業療法の4領域（身体障害、精神障害、発達障害、高齢期障害）全てに共通した基本的な学習内容となりますので、3年生以降の専門科目に対する学習意欲への動機付けとなっています。

（科目担当責任者：作業療法学科 講師 中村 裕二）



## 行事紹介

### 情報セキュリティ講習会 平成29年6月26日（月）

インターネットに代表されるネットワーク社会では、パソコン、スマートフォン等の情報端末の画面の向う側にいる不特定多数を意識した操作が重要であり、とくに保健医療の分野においては個人情報に触れることが多いことから、インターネットの仕組みやアプリケーションソフトの操作方法の習得、そして情報リテラシーの向上が必要になります。

本講習会では、保健医療学部1年生を対象として本学附属総合情報センター職員による情報セキュリティポイントの講習と、サイバーセキュリティ対策を所管する北海道警察サイバーセキュリティ対策本部の職員の方に講師をお願いし、インターネットの危険性、スマートフォン、SNSの上手な使い方、また、実際に起きた事件をもとに犯罪の手口について映像を交えながら講義していただきました。

学生からは「スマートフォンの危険性、SNSの安全な使い方に十分気をつけようと思った。」  
「とてもわかりやすかった。セキュリティについて考えを改め、もっと厳しくしようと思う機会となった。」  
「実際にあった事件も教えてもらったため、とても身近に感じ、自分が犯罪者や被害者にならないようにしたい。」といった声が聞かれました。



### 保健医療セミナー 平成29年7月21日（金）

平成29年7月21日（金）本学臨床教育研究棟講堂で平成29年度保健医療セミナーを開催しました。

このセミナーは、保健医療学部2年生および3年生を対象に、北海道における保健医療職の実際の活動を理解して専門職の具体的なイメージをもち、保健医療職の役割について考えるため平成27年度より開催しています。

今年度は、『救急医療における多職種連携』をテーマにし、本学卒業生で道内の第一線で活躍されている惣田隆之亮氏（手稲溪仁会病院）、管野敦哉氏（札医大附属病院リハビリテーション部）、村田絵史氏（旭川医大病院リハビリテーション部）を講師に迎え、講演会とパネルディスカッションを行いました。

講演会で、各講師が救急医療における自身の役割や現場の連携について講演し、パネルディスカッションで、多職種連携について、各専門職の立場から意見交換していただきました。

参加した学生からは「多職種連携のためには、様々な分野の知識を身に付け、一緒に働く人のことを理解しなければならないことがわかった」「チーム医療の中では、たくさんの職種が関わるため、意見が食い違うこともあるが、患者の気持ちを第一に考えることが重要だと改めて感じた」などの感想が寄せられました。



## 札幌医科大学オープンキャンパス 平成29年8月1日(火)

保健医療学部では、8月上旬に、オープンキャンパスを皮切りに、大学で行う入試広報イベントが続きました。今年度は、参加する高校生と在學生と触れ合う機会を設けることで、入学してからのイメージを膨らませ、大学の魅力を理解してもらうために、在學生に様々な協力をしてもらいました。

「札幌医科大学」の文字とマークがついたビブスを着用して受付・誘導、プログラムの中では自分の受験生時代の経験から受験勉強に対するアドバイス・大学での学びや生活を語ってもらうなど、お手伝いいただいた在學生は、事前準備から熱心に取り組んでくれました。

実際に直近で受験を経験し、まさに今大学生活を送っている先輩からのメッセージは、高校生の心に響いたようで、終了後のアンケートでは、「今回参加して改めて入学したいという気持ちが大きくなりました」「大学や職業について理解を深めることができ、受験に向けて勉強を頑張ろうという気持ちになりました」「学生からのアドバイスや本音を聞いてよかった」「在學生との交流でいろいろなことを教えてくださって、とてもやる気が出た」などの意見を頂きました。

また、参加していた教員からは、大学生活や学びについて生き生きと紹介する在學生の姿に感心し、本学の学生としての成長を実感したとの声がかけられました。



## 【平成29年度 後期学事予定】 (1~4学年)

(4学年共通)

9月25日～ 後期講義開始  
 10月19日～10月21日 体育祭  
 12月 8日 文化芸術祭  
 12月25日～ 1月 8日 冬季休業  
 3月16日 卒業式

(3年生)

9月19日～ 2月23日 臨地実習(看護)  
 9月25日～10月 6日 臨床実習(作業)  
 1月29日～ 2月 2日 後期定期試験(理学)  
 2月 5日～ 3月 9日 臨床実習(理学)  
 2月19日～ 3月 2日 後期定期試験(作業)

(1・2年生)

10月 2日～ 10月 6日 臨床実習(1年生理学)  
 1月22日～ 1月26日 臨地実習(1年生看護)  
 1月22日～ 1月26日 臨床実習(1年生作業)  
 1月29日～ 2月 9日 臨地実習(2年生看護)  
 2月19日～ 3月 2日 後期定期試験

(4年生)

8月21日～11月17日 臨地実習(看護)



【お問い合わせ先】

札幌医科大学事務局学務課保健医療学部教務係  
 電話:011-611-2111(内線:21920)